



MBニュース



【孟宗筍新物産地情報②】

丸松物産株式会社

4月号でお伝え致しました浙江省地区にある孟宗筍の産地情報では、その収穫量は昨年比で約10%増の豊作が見込まれる一方で、労働力確保に伴う賃金の上昇や現地での環境衛生への厳しい規制が設けられる等が影響して同地域の今年の生産量は減少するものと考えられます。また別の産地である福建省地域での生産量は増えているとのご案内を致しました。今回、それら地域における5月時点での情報を更に入手してまとめましたので、ここにその続報をお伝え致します。

各地域では全体的に豊作である為、今年の実産量は昨年比で15%増と予想よりも上回っており、平均原料価格も低価格で取引がなされているとの事。また原料の収穫状況については孟宗筍のLL・Lサイズの原料は増加傾向ですが、S・SSサイズの原料は30%以上減少していると報告がありました。しかし、増加傾向にある大きなサイズも毎年約10%上昇している人件費や為替(昨年102円今年120円)の影響もあるため輸入仕入価格を抑える事は非常に厳しい状況にあり、小さなサイズの輸入仕入価格は上がる可能性が高いと予想されております。弊社と致しましては、この現状の中、引き続き適切な仕入交渉に努めて参る所存です。

【香港、都市総合経済競争力番付の1位から転落】

「中国都市競争力報告書2015」の香港での発表会が18日に香港島・中環(セントラル)で行われた。それによると、2014年の総合経済競争力指数の上位4都市は、上から順に深セン、香港、上海、台北が並び、香港は深センに抜かれて13年ぶりに首位から転落した。持続可能な競争力指数では、香港は引き続き1位となり、以下、上海、北京、澳門(マカオ)が並んだ。

中国社会科学院都市・競争力研究センターの倪鵬飛センター長は、「香港が総合経済競争力で順位を落としたのは、『これまでの成果を守ることは十分にできるが、新しいことを始めるには力不足』という香港の都市発展局面がまったく変わっていないためだ。香港は貿易、金融、水上輸送、観光、専門的サービスの5大産業に重きを置きすぎ、規模が小さく新興の存在だが潜在力に富む多くの産業への注目が不足しており、長期的な視野で見れば新興産業・業態による支えや牽引を欠いている」と話す。

また倪センター長は、「香港は持続可能な競争力では全体としてトップに立ったが、『スマートシティ競争力』と言う項目が明らかな弱点になっている。研究開発投資が香港の生産額に占める割合はわずか0.8%で、深センの4%を大きく下回る」と強調した。

香港中文大学都市・地域発展研究センターの沈建法センター長は発表会の席で、「この報告書から香港と大陸部都市との差が徐々に縮まっていることがわかる。香港の未来については現在の安定の中で将来の危機に備え、大陸部との協力の過程でチャンスを見だし、香港の『スーパーコネクター』の役割を発揮して、互惠・ウィンウィンを実現させなければならない」と述べた。(編集KS)

「人民網日本語版」2015年5月19日より抜粋

【新商品情報】

	商品名	山形産そばの実なめこ 1kg×10	
	商品説明	今回、ご案内する「山形産そばの実なめこ」は名の通り、そばの実・なめこ共に山形産の原料を使用しております。サッパリとした醤油風味で味付しており色々とアレンジが効く万能商品になっております。	
	主要原材料	なめこ、そばの実	
	賞味期限	製造日より6カ月	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がり下さい。	